RICOH

使用説明書 プリンタークライアント編 2

IPSiO Color 8150

6. 試し印刷／機密印刷を行う

7. こんなときには

8. 付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

株式会社リコー

商標

- EPSON、ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk、Macintosh、TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- HP-GL、HP-GL/2、HP RTL、HP-DJ600、HP7550Aは、米国Hewlett-Packard社の商標です。
- i386は、Intel Corporationの商標です。
- IBM、DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Lotus1-2-3は、Lotus Development Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWareは、米国Novell,Inc.の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PostScriptは、AdobeSystems, Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

セットアップ

MacintoshのEtherTalk環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定方法について説明します。Macintoshの操作方法は、使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMacOS9.1を例に説明します。その他のバージョンをご使用の場合は、本書の説明内容を参考に、Macintoshの各マニュアルを参照して設定してください。

制限

❒ 対象となるMacOSのバージョンは7.6以上（MacOS Xは除く）です。

❒ Macintoshから印刷するには、オプションのPS3モジュールまたはマルチモジュールのどちらかがプリンターに増設されている必要があります。

❒ Macintoshで使用するためには、CD-ROMに同梱されているAdobe PSプリンタードライバー 8.6が必要です。

EtherTalk への切り替え

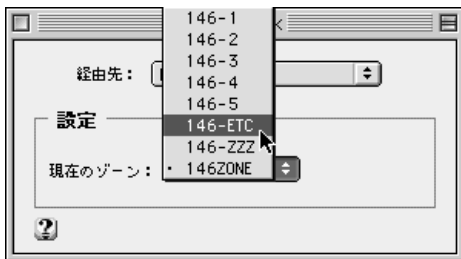
EtherTalkを使用するには、次の手順でネットワークの接続方式を切り替えます。

参照

EtherTalkに必要なソフトウェアのインストール方法については、Macintoshのマニュアルを参照してください。

1 ［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。

2 ［経由先］ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。

3 ゾーンを変更するときは、［現在のゾーン］ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 ［AppleTalk］コントロールパネルを閉じます。

5 Macintoshを再起動します。

プリンターの設定

プリンターでAppleTalkプロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

参照

設定方法については、使用説明書<システム設定編1>「操作部を使って設定する」を参照してください。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種のプリンターを複数接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Macintoshの［セレクタ］で、PRINTER0、PRINTER1のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。MacintoshのEtherTalk環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

プリンター名の変更方法については、<PostScript 3使用説明書>を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じてプリンターが所属するゾーンを変更します。

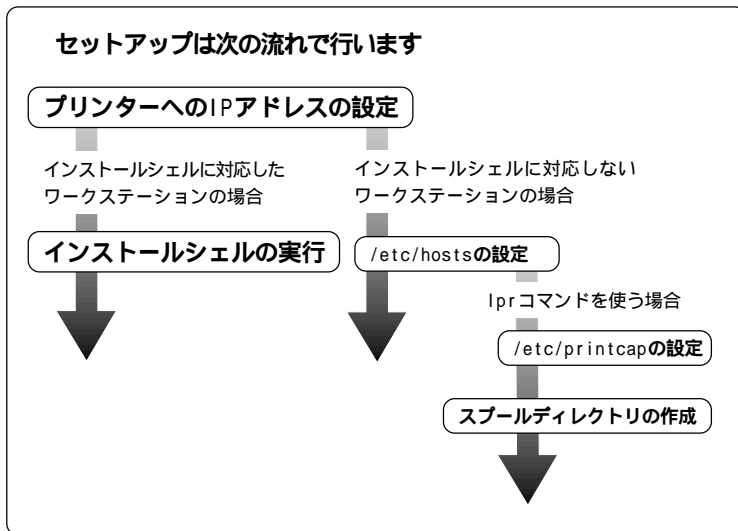
ゾーンを変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

ゾーンの変更方法については、＜PostScript 3使用説明書＞を参照してください。

UNIXでネットワークプリンターを使用する場合のセットアップ方法とプリンターの状態の表示方法について説明します。

セットアップ

セットアップを簡単に行うために、インストールシェルが用意されています。インストールシェルは、通常のリモートプリンターのセットアップ作業（/etc/hostsの設定、/etc/printcapの設定、スプールディレクトリの作成）をシェルスクリプトによって自動で行います。

操作の前に

インストールシェルは、次の5種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合は、インストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x、Solaris 7 (SunOS 5.x)
- HP-UX 8.x、9.x、10.x、11.x
- UnixWare
- Linux

NIS（Network Information Service）やDNSを使用している場合は、あらかじめサーバーの設定をしてからインストールシェルを実行してください。

OSに付属のプリンター設定ツールでも同様の設定ができるものがあります。それらを使用するときは各ツールのマニュアルを参照してください。

IP アドレスの設定

操作の前に

あらかじめプリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定します。

参照

ネットワーク環境の設定方法については、使用説明書＜システム設定編1＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

IP アドレスの確認

IPアドレスを設定したら、正しく設定されているかワークステーション上で確認してください。

1 次のように入力して確認します（IPアドレスが192.168.15.16の場合）。

```
# ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると、次のように表示されます。

```
192.168.15.16 is alive
```

間違って設定されていると、次のように表示されます。

```
no answer from 192.168.15.16
```

補足

- ❒ NISを使用している場合はマスターサーバー上の/etc/hostsに、DNSを使用している場合はネームサーバー上のデータファイルに、IPアドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されているか確認してください。

  ```
  # ping ホスト名
  ```

- ❒ サーバーに登録したホスト名は、IPアドレスの代わりに使用できます。

インストールシェルの実行

プリンターにIPアドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境を設定します。

補足

- ❒ インストールシェルは、ftpを使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションにrootでログインします。

補足

- ❒ rootでログインしないと、インストールシェルが起動しません。

2 インストールシェルをプリンターから取り出します。

❶ インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。

❷ ftpコマンドで、設定したIPアドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

❸ ユーザー名の入力待ち画面では、何も入力しないでReturnキーを押します。

```
331 Password required for root.
Password:
```

❹ パスワードの入力待ち画面では、何も入力しないでReturnキーを押します。

```
230 User root logged in.
ftp>
```

❺ インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

❻ ftpを終了します。

```
ftp> bye
221 Goodbye.
#
```

3 インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install
```

補足

❒ カレントディレクトリであることを示すピリオド（.）を付けてください。

4 使用しているワークステーションを数字で指定します。

```
Network printer install shell
 Copyright RICOH CO.,LTD. 1994-1999
 Select your workstation OS type.
  1. SunOS 4.x.x
  2. Solaris 2.x, Solaris 7 (SunOS5.x)
  3. HP-UX 8.x, 9.x, 10.x, 11.x
  4. UnixWare
  5. Linux
  6. Other
Enter <1-6>:
1
```

補足

❒「6」を指定すると、インストールシェルは終了します。

5 プリンターのIPアドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
192.168.15.16
```

補足

- ❒ ここで入力したIPアドレスが、/etc/hostsに設定されます。⇒ P.14 「/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加」
- ❒ すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないでReturnキーを押します。このとき、/etc/hostsには何も追加されません。

6 プリンターのホスト名を入力します。

```
Enter Printer host name :
ricoh
```

補足

- ❒ ここで入力した名前が/etc/hostsと/etc/printcapに設定されます。ただし、手順5でIPアドレスを入力しなかったとき、/etc/hostsには何も追加されません。

7 プリンターの名前を設定します。

そのままReturnキーを押すと、「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは、新しい名前を入力します。

補足

- ❒ ここで入力した名前が、/etc/printcapに設定されます。⇒ P.15 「/etc/printcapへのエントリーの追加」
- ❒ 「default」には、手順6で入力したホスト名に_prnを付けた名前が表示されます。手順6でホスト名を入力しなかったときは、ricoh_prnと表示されます。

8 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときは、そのままReturnキーを押します。

```
Enter remote printer name [default lp]:
filetype=RCS
hosts file is modified
#
```

インストールシェルによるセットアップが終了します。

参照

指定できるオプションの詳細については、P.22 「オプション指定」を参照してください。

補足

- ここでオプションを指定すると、入力した文字列が/etc/printcapのrpケーパビリティに設定されます(⇒ P.14)。lprで印刷すると、このオプションを使って印刷されます。
- 同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

9 テスト印刷します。

```
# lpr -Pricoh_prn ファイル名
```

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると、印刷環境が自動的に設定されます。

ここでは、SunOS 4.xでインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

補足

- ❒ インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に、各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加

/etc/hostsに次の行が追加されます。

```
192.168.15.16  ricoh  # Network Printer
```

- 192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。

補足

- ❒ /etc/hosts は、ネットワーク内で通信するすべてのホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1行で入力されます。
- ❒ NIS や DNS を使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の/etc/hostsに追加が必要です。

/etc/printcap へのエントリーの追加

/etc/printcapに次のエントリーが追加されます。

これは、lprコマンドを使って印刷するための設定です。lprコマンドを使って印刷するには、/etc/hostsファイルを設定するほか、/etc/printcapにネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
ricoh_prn|Ricoh Network Printer:\
        :rm=ricoh:\
        :rp=filetype=RCS:\
        :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:\
        :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:\
        :mx#0:
```

補足

- ❒ /etc/printcapは、プリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの/etc/printacapに、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- ❒ 同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- ❒ 1つのエントリーはコロン（：）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために、途中で改行することができます。改行の前には、バックスラッシュ（\）を入力します。
- ❒ 1行目のフィールドは、プリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることによって、複数の名前を定義できます。

❒ 2行目以降のフィールドは、プリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる2文字の名前で表されます。ケーパビリティの詳細については、次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明	ネットワークプリンターのための設定値
lp	プリンターのデバイス名	何も指定しない
rm	プリンターのホスト名	/etc/hostsに登録したホスト名
rp	オプション指定	印刷時のオプションを指定します。⇒ P.22「オプション指定」
sd	スプールディレクトリのパス名	作成するスプールディレクトリのパス名
lf	ログファイル名のパス名	ログを格納するファイルのパス名 たとえば、/usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズ。0を指定すると無制限、指定しないと1024kバイト。	指定しないか、適当な値を指定します。

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。プリンターの名前の最後にdを付けた名前になります。

補足

❒ スプールディレクトリは、印刷するデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。

❒ スプールディレクトリは、/etc/printcapに書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。

❒ スプールディレクトリは、通常/usr/spoolの下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcapの中のsdケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループをdaemon、許可モードを775に設定します。以下は、スプールディレクトリとして/usr/spool/ricoh_prndを作成するときのコマンドの入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/admディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。プリンターの名前の最後にd-errsを付けた名前になります。

印刷方法

使用しているワークステーションに応じたコマンドを入力します。

❖ BSD系UNIXワークステーションの場合

```
% lpr -Pプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

ricoh_prnという名前のプリンターで、file1およびfile2という名前のファイルを印刷する場合は、次のコマンドを入力します。

```
% lpr -Pricoh_prn file1 file2
```

❖ Solaris、HP-UXの場合

```
% lp -dプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

ricoh_prnという名前のプリンターに、file1およびfile2という名前のファイルを印刷する場合は、次のコマンドを入力します。

```
% lp -dricoh_prn file1 file2
```

補足

❒ プリンターの名前は、インストールシェル実行時に入力したプリンターの名前です。

❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。

❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと、正常に印刷されません。タブ制御や漢字で印刷する場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。

❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です（最大5セッション）。印刷要求が4セッション以下になってから、印刷を指示してください。

rsh、rcp、ftp コマンドによる印刷

rsh、rcp、ftpコマンドを使って印刷することもできます。

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと、正常に印刷されません。タブ制御や漢字で印刷する場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です（最大5セッション）。印刷要求が4セッション以下になってから、印刷を指示してください。ただし、ftpコマンドを使用したときの最大セッション数は3セッションです。

rsh

```
% rsh プリンターのホスト名 print [オプション] < ファイル名
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳細についてはP.22「オプション指定」を参照してください。

rcp

❖ **ファイルを指定して印刷する場合**

```
% rcp ファイル名 [ファイル名...] プリンターのホスト名：[オプション]
```

❖ **ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合**

```
% rcp -r ディレクトリ名 プリンターのホスト名：[オプション]
```

補足

- プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳細については、P.22 「オプション指定」を参照してください。
- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftp

印刷するファイル数に応じて、putまたはmputコマンドを使います。

制限

- ファイル名に「=」と「,」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ファイル名 [ファイル名...]
```

制限

- mputコマンドでは、オプションを指定できません。

補足

- mputコマンドでは、ファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にして、ftpコマンドを起動します。

```
% ftp プリンターのIPアドレス
```

補足

❒ ホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
Name:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

 補足

❒ バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

補足

❒ file1という名前のファイルをRPCSで印刷する場合

```
ftp> put file1 filetype=RCS
```

❒ file1とfile2という名前のファイルを印刷する場合

```
ftp> mput file1 file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

オプション指定

以下のオプションを指定すると、プリンター固有の機能を使った印刷ができます。

制限

- ❒ プリンターが認識できるオプション文字列は最大512バイトです。
- ❒ OSによっては、オプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、プリンターのプログラム登録を使ってください。
- ❒ PostScript 3のときに有効です。ただし、プログラム指定（filetype）のオプションだけは、ほかのエミュレーションでも使用可能です。

補足

- ❒ 複数のオプションを指定するときは、カンマ（,）で区切って入力します。
- ❒ 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先されます。
- ❒ lprで印刷するときのオプションは、インストールシェル実行時に入力します。一度設定したオプションを変更する方法については、P.33「オプション指定の変更方法」を参照してください。
- ❒ イコール（=）を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ（,）を追加します。
- ❒ Solaris 2.6以上でオプションを指定するときは、イコール（=）の代わりにアンダーライン（_）を使用します。複数のオプションを指定するときは、カンマ（,）の代わりにセミコロン(;)を使用します。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。

filetype（またはfil）=エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

エミュレーション	RPCS	RP-GL/2	PostScript 3
指定値	RCS	RGL	RPS

*搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。

プログラム登録番号	プログラム1	プログラム2	…	プログラム8
指定値	P01	P02	…	P08

* プログラム機能のない機種の場合は無効です。

PostScript 3で印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print filetype=RPS < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:filetype=RPS
<ftp>   ftp> put file1 filetye=RPS
```

ftpのcdコマンドの利用

ftpで印刷する場合は、cdコマンドでオプションを指定しておけば、putまたはmputコマンドの使用時にそのオプションが有効になります。

```
ftp> cd オプション
```

補足

❒ 現在設定されているオプションを表示するには、pwdコマンドを使います。

```
ftp> pwd
```

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

制限

- ❒ 増設していないトレイを指定しても無効です。

tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	給紙トレイ3	給紙トレイ4	手差しトレイ	自動トレイ選択
指定値	tray1	tray2	tray3	tray4	bypass	all

トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンドの例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print tray=tray2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:tray=tray2
<ftp>   ftp> put file1 tray=tray2
```

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

制限

- ❒ 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

paper=用紙サイズの指定値

指定値
a3（A3），a4（A4），a5（A5），jisb4（B4），jisb5（B5），jisb6（B6），ledger（11×17），letter（8 1/2×11），halfletter（5 1/2×8 1/2），legal（8 1/2×14），jpost（はがき），custom（不定形サイズ）

A3の用紙に印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

```
<rsh>   % rsh ricoh print paper=a3 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:paper=a3
<ftp>   ftp> put file1 paper=a3
```

用紙種類

用紙の種類を指定します。

制限

- ❒ 存在しない用紙種類は指定しても無効です。

mediatype=用紙種類の指定値

指定値
plain(普通紙), recycled(再生紙), special(特殊紙), color(色紙), labels(ラベル紙), thick(厚紙), transparency(OHP フィルム)

再生紙に印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。(プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1)

```
<rsh>   % rsh ricoh print mediatype=recycled < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:mediatype=recycled
<ftp>   ftp> put file1 mediatype=recycled
```

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。

制限

❒ 存在しないトレイは指定しても無効です。

outbin=排紙トレイの指定値

排紙トレイ	本体トレイ	本体左上トレイ	2000枚フィニッシャー・トレイ1	2000枚フィニッシャー・トレイ2	4ビンプリントポスト・トレイ1〜4
指定値	upperまたはoptionaloutputbin1	lower	finisherproof	finishershift	optionaloutputbin2〜5

4 ビンプリントポストのトレイ 1 に排紙する場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print outbin=optionaloutputbin2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:outbin=optionaloutputbin2
<ftp>   ftp> put file1 outbin=optionaloutputbin2
```

印刷部数

印刷部数を指定します。

制限

❒「qty」と同時に指定しないでください。

copies=印刷部数（1〜999）

10部印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print copies=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:copies=10
<ftp>   ftp> put file1 copies=10
```

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

制限

❒「copies」と同時に指定しないでください。

qty=ソート部数（1〜999）

10部ソートして印刷する場合のコマンド例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print qty=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:qty=10
<ftp>   ftp> put file1 qty=10
```

両面印刷

用紙の両面に印刷できます。

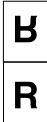
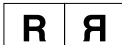
制限

❒ プリンターにオプションの両面印刷ユニットが必要です。

duplex=両面印刷するかどうかの指定

両面印刷	する	しない
指定値	on	off

両面印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print duplex=on < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:duplex=on
<ftp>   ftp> put file1 duplex=on
```

両面印刷時の綴じ方向

両面印刷時の用紙の綴じ方向を指定します。

制限

- ❒ プリンターにオプションの両面印刷ユニットが必要です。

binding=用紙の綴じ方向

綴じ方向	左綴じ		上綴じ		右綴じ	
印刷方向	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape
綴じ結果	Я R	Я R	ᴚ R	ᴚ R	R Я	R Я
指定値	left		top		right	

左綴じの場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print binding=left < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:binding=left
<ftp>   ftp> put file1 binding=left
```

解像度

印刷する解像度を指定します。

resolution=解像度
bitsperdot=2（1200×600dpiのときに指定します）

解像度		600×600	1200×600	1200×1200
指定値	resolution	600	600	1200
	bitsperdot	指定しない	2	指定しない

1200×600dpiで印刷する場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print resolution=600,bitsperdot=2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:resolution=600,bitsperdot=2
<ftp>   ftp> put file1 resolution=600,bitsperdot=2
```

ステープル

印刷物をステープルで綴じるときに指定します。

制限

- プリンターにオプションの2000枚フィニッシャーが必要です。
- 以下に記載したステープル位置は、印刷方向で「portrait」を指定した場合です。「landscape」を指定した場合、左右が逆になります。

staple=ステープル位置の指定値

指定値	lefttop	righttop	lefttopslantland または lefttopslantport	righttopslantland または righttopslantport	left2port または left2land	right2port または right2land	top2port または top2land	booklet
ステープル位置	左上1ヵ所	右上1ヵ所	左上に斜めに1ヵ所	右上に斜めに1ヵ所	左2ヵ所	右2ヵ所	上2ヵ所	中綴じ

左上1ヵ所をステープルで綴じる場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print staple=lefttop < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:staple=lefttop
<ftp>   ftp> put file1 staple=lefttop
```

参照

綴じ位置の詳細については、P.120 「ステープル、パンチについて」を参照してください。

パンチ

印刷物をパンチで穴あけするときに指定します。

制限

- ❒ プリンターにオプションの2000枚フィニッシャーが必要です。
- ❒ 以下に記載したパンチ位置は、印刷方向で「portrait」を指定した場合です。「landscape」を指定した場合、左右が逆になります。

punch=パンチ位置の指定値

指定値	leftportまたは leftland	rightportまたは rightland	topportまたは topland
パンチ位置	左	右	上

左側をパンチする場合のコマンドの例は、次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print punch=leftport < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:punch=leftport
<ftp>   ftp> put file1 punch=leftport
```

参照

パンチ位置の詳細については、P.120「ステープル、パンチについて」を参照してください。

オプション指定の変更方法

lprで印刷するときには、インストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

❖ BSD系UNIXワークステーション
/etc/printcapから修正するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします(⇒ P.10「インストールシェルの実行」)。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。
または、/etc/printcapから修正するプリンターのエントリーを探し、そのrpケーパビリティを新しいオプション指定に修正します（⇒ P.15 「/etc/printcapへのエントリーの追加」)。

❖ Solaris、HP-UX
修正するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（⇒ P.10 「インストールシェルの実行」)。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、以下のように操作します。

① スケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

② プリンターを削除します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -x プリンターの名前
```

③ スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lp/lpsched
```

プリンターの状態表示

BSD系UNIXワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーすることができます。

表示する場合

lpqコマンドを使って、プリンターの状態（ステータス）とプリントジョブ情報を表示できます。

```
% lpq -Pプリンター名
```

rshコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容を表示できます。

```
% rsh プリンターのホスト名 パラメータ
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ -
```

rsh、rcp、ftpでは、次のパラメータを指定できます。

パラメータ	表示またはコピーできる内容	参照先
stat	プリンターの状態（ステータス）	⇒使用説明書＜システ設定編2＞「付録」
	印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）	
info	給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション	
prnlog	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）	
syslog	イーサネットボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）	

ファイルにコピーする場合

rcpコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容をファイルにコピーできます。

補足

- 表示する場合と同じパラメータを指定できます。

```
% rcp プリンターのホスト名：パラメータ ファイル名
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ ファイル名
```

NetWareのプリントサーバーを使用した場合のクライアントのセットアップ方法を説明します。

補足

- ここでの説明は、クライアントにNetWareクライアントソフトウェアがインストールされ、NetWareのサーバーと正しく通信できる環境に設定されていることを前提としています。設定されていない場合は、クライアントに必要なソフトウェアをインストールしてからセットアップを行ってください。
- 操作例は次の条件で設定しています。
  - NetWareのバージョン…4.1J
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - キューの名前…R-QUEUE

Windows 95/98/Me のセットアップ

プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷先のポートをNetWareのキューに変更します。

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

1 印刷するプリンターのプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。

参照

インストール方法については、使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

補足

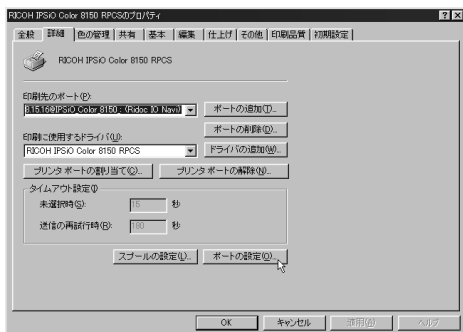
- インストールの途中で、プリンターが使用するポートを選択します。どのポートを選んでもかまいませんが、通常は「LPT1」を選んでください。

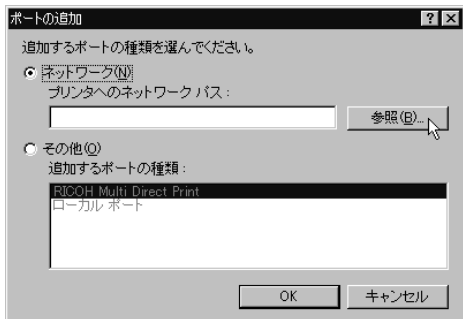
2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

3 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

4 **[詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。**

[ポートの追加] ウィンドウが表示されます。

5 **[ネットワーク] をクリックし、[参照] をクリックします。**

[プリンタの参照] ウィンドウが表示されます。

6 **NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。**

作成されているキューが展開されます。

7 印刷するキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

［ポートの追加］ウィンドウが表示されます。

8 ［OK］をクリックします。

［印刷先のポート］ボックスにプリンターへのネットワークパスが入力されます。

9 ［OK］をクリックしてプリンターのプロパティ画面を閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティ画面を開きます。

10 ［プリンタ設定］タブをクリックします。

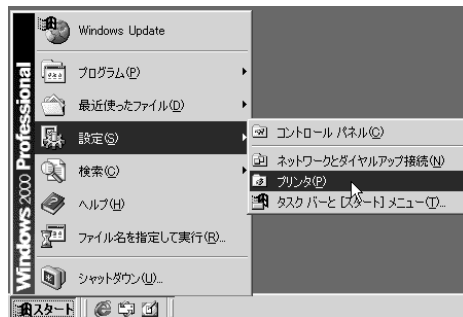
11 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを外します。

補足

- Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると、正しく印刷できない場合があります。

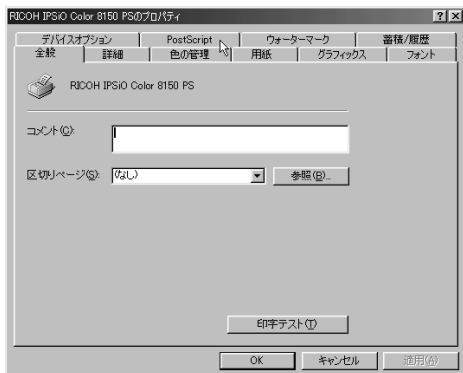
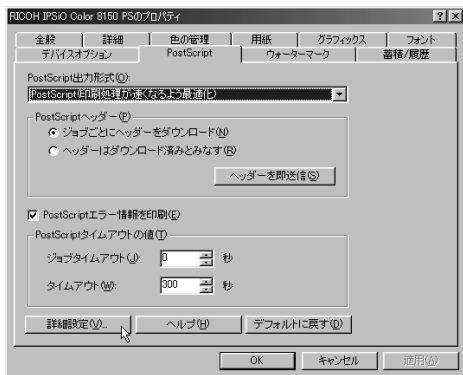
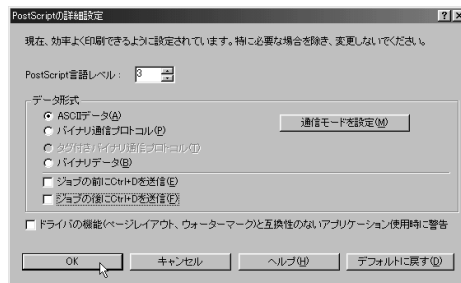
PostScript印刷を行うとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷を行うときは、次の設定をします。

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

❷ PostScript 3のプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

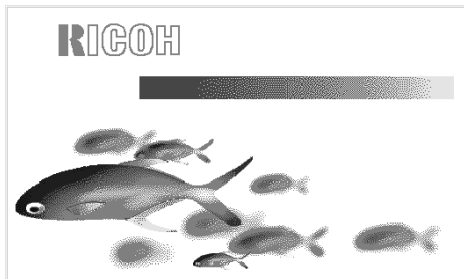
❸ ［PostScript］タブをクリックします。

❹ ［詳細設定］をクリックします。

❺ ［ジョブの前にCtrl+Dを送信］と［ジョブの後にCtrl+Dを送信］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックし、プロパティ画面を閉じます。

Windows 2000 のセットアップ

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

NetWareサーバーを使う場合は［標準インストール］を実行します。［標準インストール］では、RPCSプリンタードライバーがインストールされます。

1 Windows 2000が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

3 ［標準インストール］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、[はい] をクリックします。

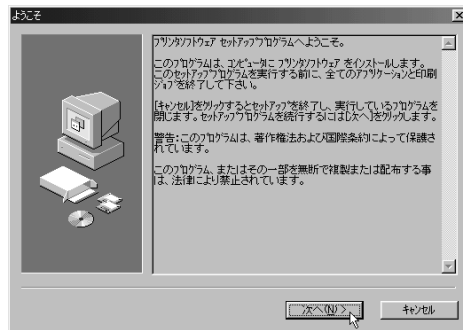
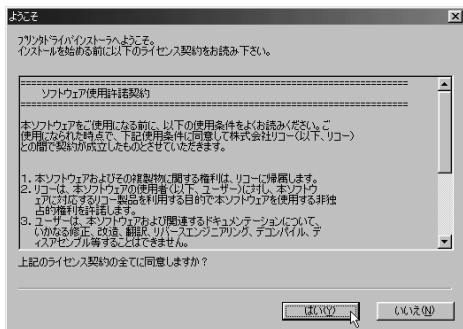
ようこそ
ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞｲﾝｽﾄｰﾗへようこそ。
ｲﾝｽﾄｰﾙを始める前に以下のﾗｲｾﾝｽ契約をお読み下さい。

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に、以下の使用条件をよくお読みください。ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して株式会社リコー（以下、リコー）との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本ソフトウェアおよびその複製物に関する権利は、リコーに帰属します。
2. リコーは、本ソフトウェアの使用者（以下、ユーザー）に対し、本ソフトウェアに対応するリコー製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザーは、本ソフトウェアおよび関連するドキュメンテーションについて、いかなる修正、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブル等することはできません。

上記のﾗｲｾﾝｽ契約の全てに同意しますか？

はい(Y) いいえ(N)

5 印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、[次へ] をクリックします。プリンター名を変更するときは、[プリンタ名] ボックスで修正します。通常使うプリンターにする場合は[通常使うプリンタにする]をチェックします。

[ポートの選択] ダイアログが表示されます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることはできません。P.49「プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」

6 [追加] をクリックします。

7 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。

8 NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

作成されているキューが展開されます。

9 印刷するキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

10 ［ポート名］ボックスに選択したキューのパスが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

11 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

補足

- ❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

12 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

13 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。

[プリンタ]ウィンドウが表示されます。

14 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

制限

- [プリンタ]ウィンドウでプリンターのプロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

15 [NetWare設定]タブをクリックします。

16 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

補足

- ❒ Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると、正しく印刷できない場合があります。

PostScript印刷を行うとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷を行うときは、次の設定をします。

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

❷ PostScript 3のプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

制限

- ❒ [プリンタ] ウィンドウでプリンターのプロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administratorsまたは PowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❸ [デバイスの設定] タブをクリックします。

❹ [ジョブの前にCtrl+Dを送信] と [ジョブの後にCtrl+Dを送信] で、[いいえ] を選択します。

17 [OK] をクリックして、プリンターのプロパティ画面を閉じます。

プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき

このメッセージは、インストールしようとしたプリンタードライバーよりも新しいドライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されている名前の、すでにインストールしたプリンタードライバーを使用して、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ プリンターの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2000¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

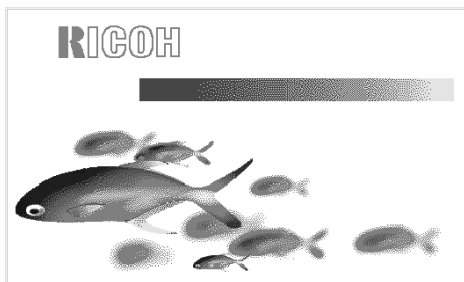
Windows NT 4.0 のセットアップ

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

NetWareサーバーを使う場合は、[標準インストール] を実行します。

[標準インストール] では、RPCSプリンタードライバーがインストールされます。

1 **Windows NT 4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**

3 **[標準インストール] を選択し、[次へ] をクリックします。**

4 プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンター名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。

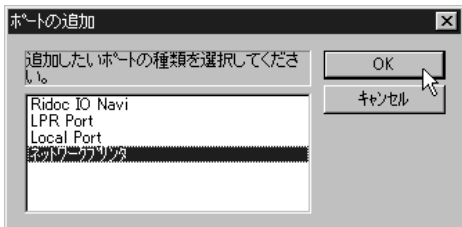
補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることはできません。P.56「プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」

6 [追加]をクリックします。

7 [ネットワークプリンタ]を選択し、[OK]をクリックします。

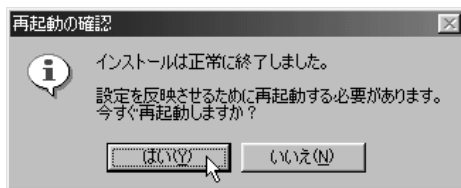
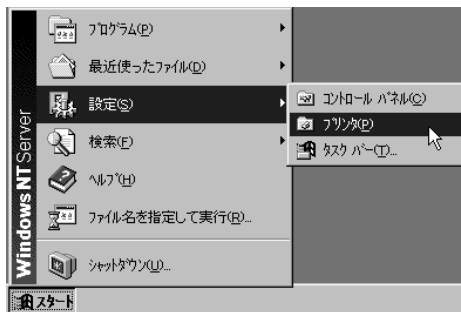
8 NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

作成されているキューが展開されます。

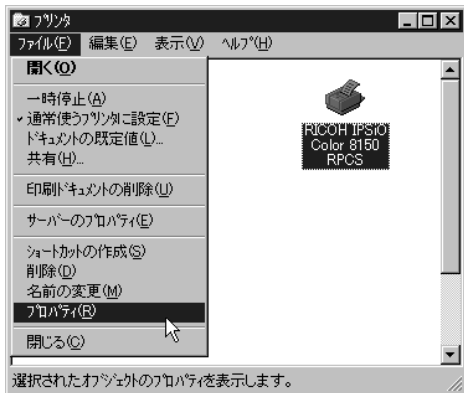
9 印刷するキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

10 ［ポート名］ボックスに選択したキューのパスが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

11 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

12 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

13 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

14 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

15 ［NetWare設定］タブをクリックします。

16 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

補足

❒ Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると、正しく印刷できない場合があります。

PostScript印刷を行うとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷を行うときは、次の設定をします。

❶ ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

❷ PostScript 3のプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

制限

❒ ［プリンタ］ウィンドウでプリンターのプロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❸ ［デバイスの設定］タブをクリックします。

❹ [ジョブの前にCtrl+Dを送信] と [ジョブの後にCtrl+Dを送信] で、[いいえ] を選択します。

17 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき

このメッセージは、インストールしようとしたプリンタードライバーよりも新しいドライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されている名前の、すでにインストールしたプリンタードライバーを使用して、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WINNT40¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

ファイル一覧

<table>
<tr><td rowspan="14">CD-ROM DRIVE</td><td colspan="4">INSTTOOL.EXE
Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作する、プリンタードライバーとユーティリティーのインストーラーです。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DRIVERS ⇒ P.58</td><td rowspan="3">RPCS</td><td>WIN95</td><td>Windows 95/98/Me用プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td>WIN2000</td><td>Windows 2000用プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td>WINNT40</td><td>Windows NT 4.0用プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">NETWORK</td><td rowspan="2">RIDOCIO</td><td>NAVI ⇒ P.62</td><td>Ridoc IO Navi</td></tr>
<tr><td>ADMIN ⇒ P.60</td><td>Ridoc IO Admin</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UTILITY</td><td>RIDOCDSK ⇒ P.65</td><td colspan="2">Ridoc Desk 2000 Lt</td></tr>
<tr><td>1394</td><td colspan="2">拡張1394ボード（オプション）用ツール</td></tr>
<tr><td rowspan="2">FONTS ⇒ P.67</td><td>WIN31</td><td colspan="2">TrueTypeWorld Windows 3.1版</td></tr>
<tr><td>WIN95NT</td><td colspan="2">TrueTypeWorld Windows 95版</td></tr>
<tr><td rowspan="3">HELP ⇒ P.74</td><td>W2K95NT4</td><td colspan="2">Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0用ヘルプ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">WSMHLP</td><td>JA</td><td>Webブラウザによる管理 （日）index.html</td></tr>
<tr><td>EN</td><td>Webブラウザによる管理 （英）index.html</td></tr>
</table>

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

❖ **ファイル格納場所**

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN95

  補足

  ❒ Windows 98/Me用のプリンタードライバーは、Windows 95用と共通です。

- Windows 2000用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN2000

- Windows NT 4.0用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WINNT40

❖ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ

制限

❒ Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- 対象OS
  Microsoft Windows 95 日本語版
  Microsoft Windows 98 日本語版
  Microsoft Windows Me 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度
  800×600ドット以上

Ridoc IO Admin

Ridoc IO Adminは、TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。IPアドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者がご使用になることをお勧めします。

❖ ファイル格納場所
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\RIDOCIO\ADMIN

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWare ネットワーク クライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT4.0 日本語版	Windows NT4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

❖ **どんなことができるのか？**

Ridoc IO Adminでは、以下の操作ができます。

- プリンターの操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- プリンターにセットされている用紙の種類を設定できます。
- プリンターの省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- プリンターの印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンターのネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンターのネットワークに関する設定を変更できます。
- プリンターで印刷したページ数を印刷ログコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードを使って、各パソコンごとの印刷枚数を確認できます。

参照

Ridoc IO Adminの使用方法については、ヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Naviは、以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンターをご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0からTCP/IPプロトコル、NetBEUI、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷することができます。
- TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使用して、ネットワークにある機器の状態を常に監視できます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

`NETWORK\RIDOCIO\NAVI`

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetBEUIプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPXプロトコル NetWare Client 32 for Windows 95 Intranetware Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のNetBEUIプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Novell Client for Windows NT/2000
Microsoft Windows NT4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のNetBEUIプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPXトランスポート NetWare Client for Windows NT Intranetware Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Naviでは以下の操作ができます。

- Peer-to-Peerネットワークで印刷できます。
  - プリントサーバーがなくても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  - 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に、指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- プリンターを監視することができます。
  - プリンターの印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数のプリンターを使い分けている場合、それらを同時に監視できます。
  - プリンターのネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザー IDを使って、ジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知] ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また、代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件によって通知するかどうかを設定することができます。

制限

- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（たとえば、オプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、異なる印刷結果になることがあります。
- ❒ 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷/並行印刷はできません。

参照

Ridoc IO Navi**の使用方法については、ヘルプを参照してください。**

Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイル、スキャナーで入力した画像データ、既存のイメージファイルなどさまざまなデータを1つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストールと同時に、Job Binder機能もインストールされます。Job Binder機能によって、複数のアプリケーションで作成したファイルやRidoc Desk 2000 Lt文書をパソコンに印刷データとして保存しておき、1つの文書として印刷したり、ステープル印刷や、両面印刷を行うことができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。Ridoc Desk 2000 Ltのインストール画面からJob Binder機能だけをインストールすることも可能です。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY\RIDOCDSK

❖ Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境

- **パソコン**
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ

制限

❒ Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- **対象OS**
  Microsoft Windows 95 OSR 2以上 日本語版
  Microsoft Windows 98、98 SE 日本語版
  Microsoft Windows Me 日本語版
  Windows 2000 Professional 日本語版
  Windows 2000 Server 日本語版
  Windows 2000 AdvancedServer 日本語版
  Windows NT WorkStation 4.0 日本語版 サービスパック5以上
  Windows NT Server 4.0 日本語版 サービスパック5以上

- CPU
  Pentium 133MHz以上
- メモリー容量
  48Mバイト以上
- ハードディスク容量
  安定した動作のためには、200Mバイト以上（保存する文書データ容量によって異なります）の空き容量が必要
  インストール先に50Mバイト以上の空き容量が必要
- ディスプレイ解像度
  800×600ドット以上
  64,000色以上推奨

補足

❒ Ridoc Desk 2000 Ltのインストールが終了したら、「Ridoc Desk 2000 Lt セットアップ」画面で［セットアップ終了］ボタンをクリックし、Windowsを再起動してください。

❒ Ridoc Desk 2000 Ltのインストール後、Windowsを再起動しないでAdobe Acrobat Readerをインストールすると、Ridoc Desk 2000 Ltが起動できない場合があります。このような場合には、Ridoc Desk 2000 Ltを再度インストールしてください。

参照

Ridoc Desk 2000 Ltの使用方法については、ヘルプを参照してください。

TrueTypeWorld

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows 95版
  FONTS\WIN95NT
- TrueTypeWorld Windows 3.1版
  FONTS\WIN31

参照
インストール対象のOSについては、P.70 「基本仕様」を参照してください。

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

羽衣L
愛の広がる美しいフォント

羽衣E
愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体
愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流
愛の広がる美しいフォント

行刻
愛の広がる美しいフォント

半古印体
愛の広がる美しいフォント

行書体
愛の広がる美しいフォント

祥南行書体
愛の広がる美しいフォント

正楷書体
愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体
愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体
愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体
愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体
愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9
愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W9	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』だけの場合は、和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows 3.1版を収録しています。

基本仕様

7,602文字（MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む）

フォーマット/Microsoft Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式 （拡張子: ttc）

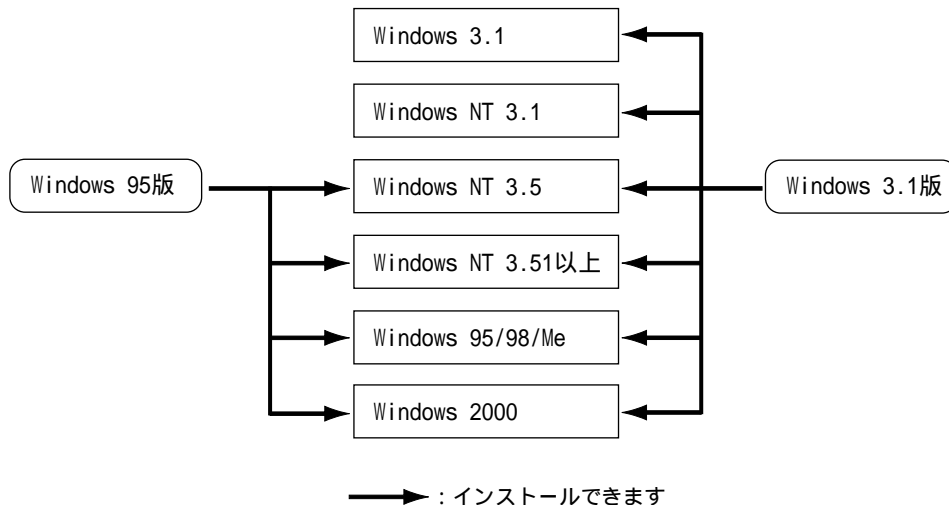
補足

- Windows 95以降で、和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって、書体表示名が異なります。

「HGP〜」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS〜」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG〜」	固定ピッチ情報のみ格納

- 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。
- 羽衣L、羽衣E、高橋隷書体は、Windows 3.1版のフォーマットで収録されています。

❖ インストール対応図

Windows 95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。

Windows へのインストール

ここでは、操作例としてWindows 95/98/Meへのインストール方法を説明します。その他のOSへのインストール方法については、それぞれのOSに付属の説明書を参照してください。

制限

- ❒ **インストールされているフォント数が多いと、システムが不安定になる恐れがあります。**
- ❒ **リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときにほかのフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。**
- ❒ **Windows 3.1版フォント（羽衣L、羽衣E、高橋隷書体）は、Windows 95/98/Meでの和文フォントのプロポーショナル機能をサポートしていません。**

補足

- ❒ **Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約2〜8Mバイト（書体によって異なります）の空き容量が必要です。**
- ❒ **インストール後、Windows 95版フォントのフォント名は、3つの書体名「HG〜」、「HGP〜」、「HGS〜」で表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中で、フォント名は「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。**

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。**

3 **［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。**

4 **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

5 **［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。**

6 **［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。**

7 **[フォントの一覧] ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。**

8 **[フォントフォルダにフォントをコピーする] に✓印が付いていることを確認し、[OK] をクリックします。**

これでインストールは完了しました。

ヘルプファイル

オンラインヘルプがヘルプファイル形式で用意されています。オンラインヘルプには、プリンタードライバー各画面やいろいろな印刷方法について詳しい説明が記載されています。ご使用の環境に応じてお読みになり、ご活用ください。

オンラインヘルプは、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすることによって表示させることもできます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0用ヘルプファイル

  HELP\W2K95NT4

- Webブラウザによる管理

補足

❒ Webブラウザによるイーサネットボードの設定方法が、HTML形式で格納されています。

❒ Internet Explorer 3.02以上またはNetscape Navigator 3.0以上のWebブラウザを起動し､｢index.html｣を開いてお読みください。

- 日本語版

  HELP\WSMHLP\JA

- 英語版

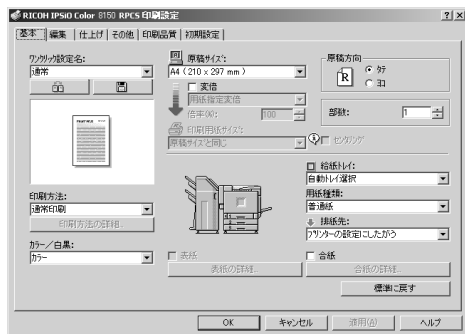
  HELP\WSMHLP\EN

2 種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面には、「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の2つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方法については、ヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

❖ 機能別ウィンドウ

印刷ごとに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に便利なウィンドウタイプです。

❖ ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷をする方に便利なウィンドウタイプです。

補足

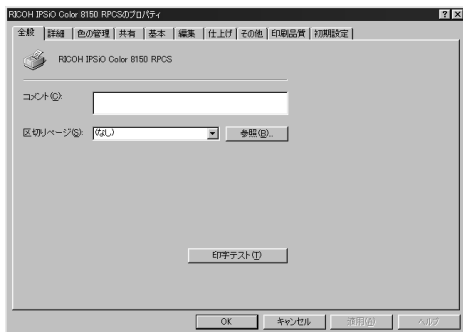
❒ ワンクリック設定の表示は、オプションの装着状態によって変化することがあります。

Windows 95/98/Me の場合

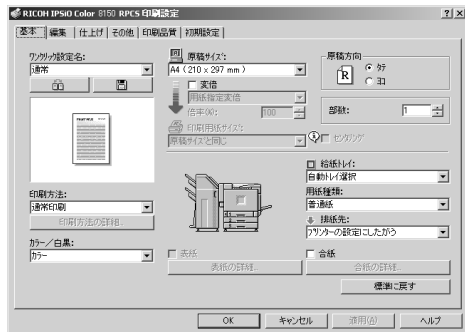
プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 95/98/Meには、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が2種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[詳細]、[色の管理]、[共有]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定］タブが表示されます。表示方法については、P.79 「印刷の初期値を設定する」を参照してください。

［全般］、［詳細］、［色の管理］、［共有］タブは、Windows 95/98/Meによって追加されたタブで、Windows 95/98/Meの機能に関する設定を行います。
[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定］タブは、プリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの初期値になります。

❖ アプリケーションから表示させる

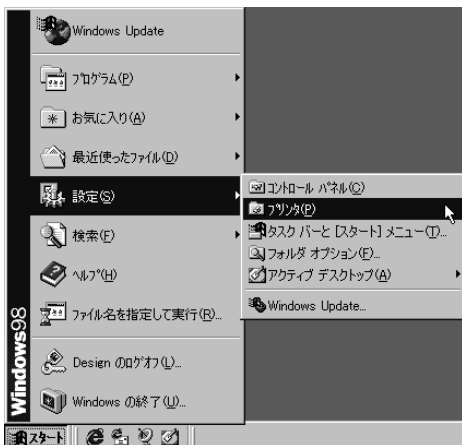
アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法については、P.80「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。

[プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティ画面を表示して、そこで設定した内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

補足

- ❒ ここで行う設定は、印刷するアプリケーションだけに有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値が変更されます。

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定するには、プリンターのプロパティを［プリンタ］ウィンドウから表示し、そこで設定します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順は、アプリケーションによって多少異なります。詳細については、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲などの基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、プリンターとパソコンの両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

ZDJS001J

操作画面に「ジョブリセットチュウ（給紙トレイ名）」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

❒ 印刷を中止したのにデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

 補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、ほかのユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- ❒ 手順2で選択したドキュメントの印刷を開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows 2000 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］、［ユーザーコード］、［プリントポストトレイ名称設定］[*1] タブが表示されます。表示方法については、P.87 「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。

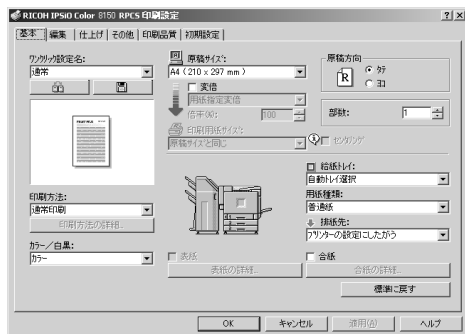
［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは、Windows 2000によって追加されたタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。
［オプション構成の変更］、［TrueTypeフォントの置換編集］、［ユーザーコード］、［プリントポストトレイ名称設定］[*1] タブは、プリンターに関する設定を行うタブです。

[*1] 4ビンプリントポスト装着時のみ表示されます。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（印刷設定）

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブが表示されます。表示方法については、P.88「印刷の初期値を設定する（印刷設定）」を参照してください。

［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］タブは、プリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための初期値になります。

制限

- ❒ 印刷設定の内容を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ **アプリケーションから表示させる**

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定］タブが表示されます。表示方法については、P.89 **「アプリケーションごとに設定する」****を参照してください。**

[全般］タブは Windows 2000**によって追加されたタブで、**Windows 2000**の機能に関する設定を行います。[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質］タブには、[プリンタ］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。**

補足

- ❒ **ここで行う設定は、印刷するアプリケーションだけに有効な設定です。**
- ❒ **アプリケーションによっては印刷の初期値が変更されます。**

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

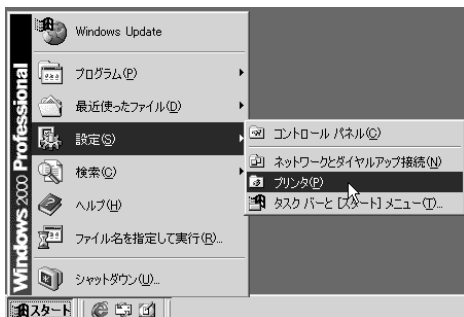
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

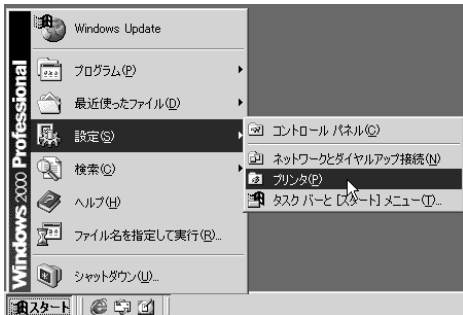
設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

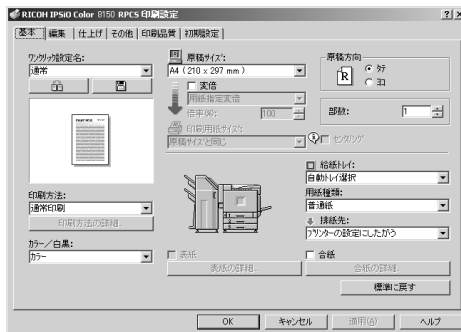
補足

❒ ここで行う設定が、すべてのアプリケーションでの初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダで印刷設定を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

参照

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここで行う設定がアプリケーションから印刷するときに必要な初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは、Windows 2000に付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順は、アプリケーションによって多少異なります。詳細については、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、プリンターとパソコンの両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

操作画面に「ジョブリセットチュウ（給紙トレイ名）」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

❒ 印刷を中止したのにデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

❒ [プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し]をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。

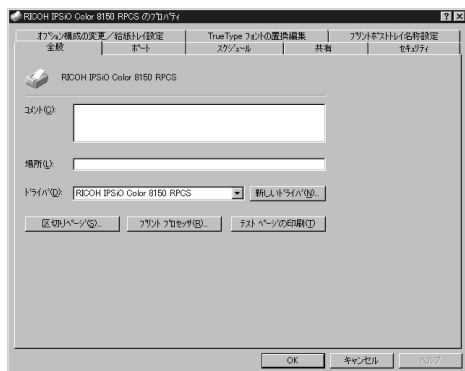
❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷を開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows NT 4.0 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows NT 4.0には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ **［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）**

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］、［プリントポストトレイ名称設定］[*1] タブが表示されます。表示方法については、P.95「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブは、Windows NT 4.0によって追加されたタブで、Windows NT 4.0の機能に関する設定を行います。

［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］、［プリントポスト名称設定］[*1] タブは、プリンターに関する設定を行うタブです。

[*1]　4ビンプリントポスト装着時のみ表示されます。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ [プリンタ] ウィンドウから表示させる（ドキュメントの既定値）

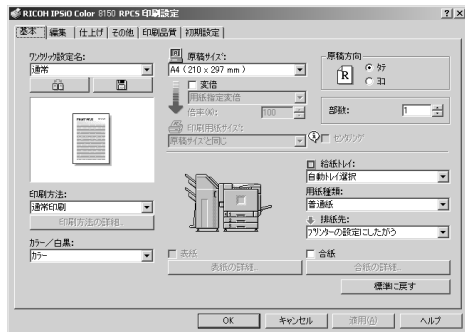
[プリンタ] ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法については、P.96 「印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）」を参照してください。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブは、プリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの初期値になります。

制限

- ❒ ドキュメントの既定値の内容を変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法については、P.97「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。

[プリンタ] ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

補足

❒ ここで行う設定は、印刷するアプリケーションだけに有効な設定です。

❒ アプリケーションによっては印刷の初期値が変更されます。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

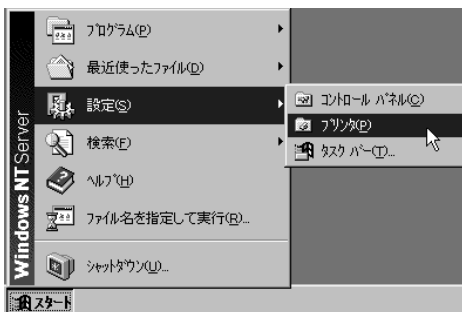
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

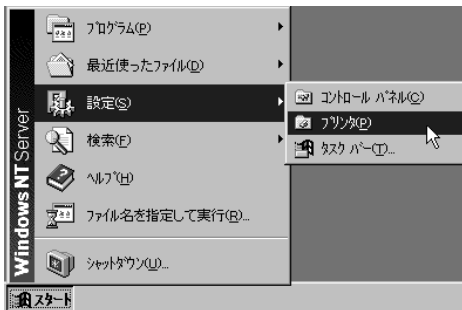
設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここで行う設定が、すべてのアプリケーションでの初期値になります。

印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでドキュメントの既定値を変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

ドキュメントの既定値が表示されます。

参照

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここで行う設定がアプリケーションから印刷するときに必要な初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは、Windows NT 4.0 に付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順は、アプリケーションによって多少異なります。詳細については、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲などの基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、プリンターとパソコンの両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

ZDJS001J

操作画面に「ジョブリセットチュウ（給紙トレイ名）」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したのにデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させせます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［印刷ドキュメントの削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順2で選択したドキュメントの印刷を開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

試し印刷をする

複数部数を印刷する場合などに、最初に1部だけ印刷し、その結果を確認してから操作パネルを使用して残り部数を印刷することができます。内容や印刷の指定の誤りによる大量のミスプリントを防ぐことができます。

重要

- ❒ 電源を切ると、蓄積された文書が消去されます。

制限

- ❒ 試し印刷をするには、オプションの拡張HDDが必要です。

参照

プリンタードライバーの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティ画面の［基本］タブで、試し印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷機能］タブで設定します。

❶ ［印刷方法］のドロップダウンメニューから［試し印刷］を選択します。

❷ ［初期設定］タブの［ユーザーID］ボックスにユーザーIDを半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［初期設定］ダイアログで設定します。

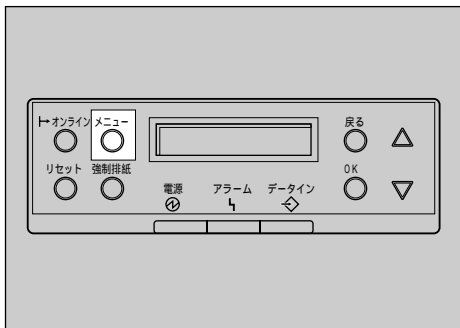
2 印刷を指示します。

1部だけ印刷され、拡張HDDに文書が蓄積されます。

3 印刷結果を確認し、操作パネルから2部目以降を印刷するか文書を削除するかを指示します。

- 2部目以降を印刷する⇒ 「2部目以降を印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.103 「文書を消去する」

2部目以降を印刷する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

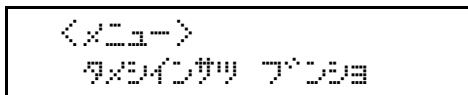
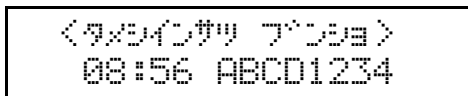
メニュー画面が表示されます。

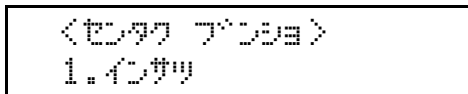
2 【▲】または【▼】キーを押して「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
タメシインサツ ブンショ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

<タメシインサツ ブンショ>
08:56 ABCD1234

4 「1. インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

<センタク ブンショ>
1.インサツ

残りの印刷部数が表示されます。

補足

❒ 印刷をキャンセルする場合は、**【戻る】**キーを押します。

5 **【OK】キーを押します。印刷部数を変更する場合は【▲】または【▼】キーを押して部数を変更してから、【OK】キーを押します。**

```
ﾌﾞｽｳ:   6(1-999)
OKｷｰﾃﾞ ｲﾝｻﾂｻﾚﾏｽ
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 **操作パネルの【メニュー】キーを押します。**

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】または【▼】キーを押して「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 **【▲】または【▼】キーを押して削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
 08:56 ABCD1234
```

4 **【▲】または【▼】キーを押して「2.ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ
```

 補足

❒ 消去をキャンセルする場合は、**【戻る】**キーを押します。

5 文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
08:56 ABCD1234
OKキーデ゛ ショウキョサレマス
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積できなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

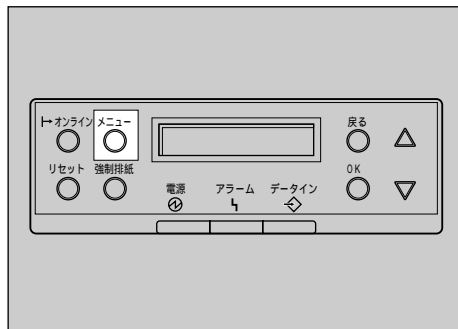
制限

❒ エラー履歴に表示されるのは最新の20件だけです。また、プリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 <メニュー>
  タメシインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 <タメシインサツブンショ>
  エラー ブンショ
```

4 【▲】または【▼】キーを押して履歴を確認します。

```
 <エラー ブンショ>
  06:53 EFGH4567
```

履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

補足

- ❒ エラーになった文書を印刷するには、拡張HDDに蓄積されている文書を印刷するか文書を削除してから、パソコンからあらためて印刷の指示を出してください。

5 履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
 インサツデキマス
 RPCS
```

機密印刷をする

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文書を印刷するときに便利な機能です。いったんプリンターの拡張HDDにデータを蓄積し、操作パネルを使用して蓄積したデータを印刷します。機密印刷では、プリンターの操作パネルからパスワードを入力しないと印刷できません。このため、他人に文書を見られる心配がありません。

重要

- ❒ 電源を切ると、蓄積文書が消去されます。

制限

- ❒ 機密印刷をするには、オプションの拡張HDDが必要です。

参照

プリンタードライバーの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティ画面の［基本］タブで、機密印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能］タブで設定します。

❶［印刷方法］のドロップダウンメニューから［機密印刷］を選択します。

❷ ［初期設定］タブの［ユーザー ID］ボックスにユーザーIDを半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［初期設定］ボタンをクリックし、［初期設定］ダイアログで設定します。

❸ ［基本］タブの［印刷方法の詳細］ボタンをクリックします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷方法の詳細］ボタンをクリックします。

［印刷方法の詳細］ダイアログが表示されます。

❹ パスワードを半角英数字4文字以内で入力し、[OK] ボタンをクリックします。

❺ 確認のためにもう一度パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

2 印刷の指示をします。

文書が拡張HDDに蓄積されます。

3 操作パネルでパスワードを入力し、印刷するか削除するかを指示します。

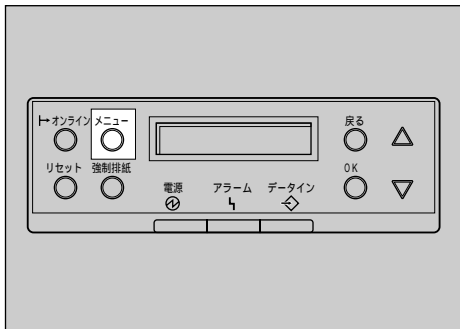
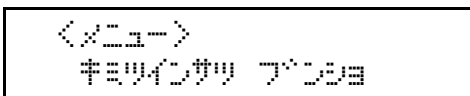
- 操作パネルを使って印刷する⇒ P.109「操作パネルを使って印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.110 「文書を消去する」

制限

❒ 以下の場合、文書は拡張 HDD に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。

- 拡張HDDに試し印刷と機密印刷の文書が合計30ある場合
- 拡張HDDに蓄積されている文書の総ページ数が2,000ページを超えた場合

操作パネルを使って印刷する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ﾒﾆｭｰ>
ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

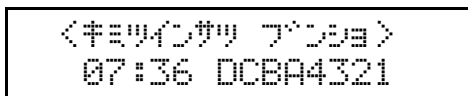
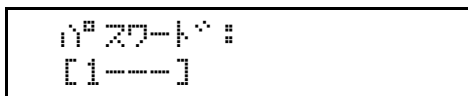
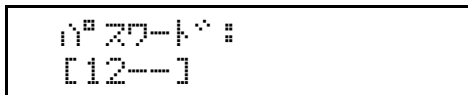
<ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
07:36 DCBA4321

4 パスワードを入力します。

❶ 【▲】または【▼】キーを押して任意の数字を表示させ、【OK】キーを押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[1----]

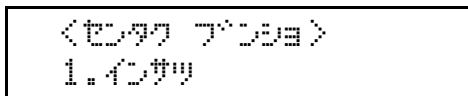
❷ カーソルが次の位に移動します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[12---]

❸ すべての位を設定し、【OK】キーを押します。

5 「1.インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
1.ｲﾝｻﾂ

印刷部数が表示されます。

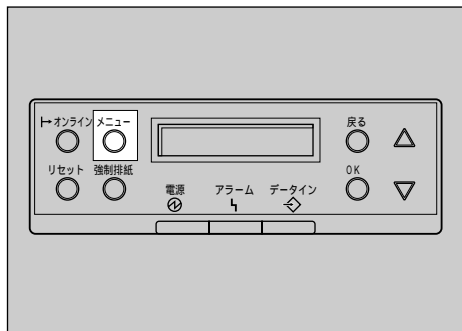
補足

- ❒ 印刷をキャンセルする場合は、【戻る】キーを押します。

6 【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｲﾝｻﾂｻﾚﾏｽ
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
 07:36 DCBA4321
```

4 パスワードを入力します。

❶ 【▲】または【▼】キーを押して任意の数字を表示させ、【OK】キーを押します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[1----]
```

❷ カーソルが次の位に移動します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[12---]
```

❸ すべての位を設定し、【OK】キーを押します。

5 「2．ショウキョ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ
```

補足

❒ 消去をキャンセルする場合は、**【戻る】**キーを押します。

6 消去する文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｼｮｳｷｮｻﾚﾏｽ
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積されなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

制限

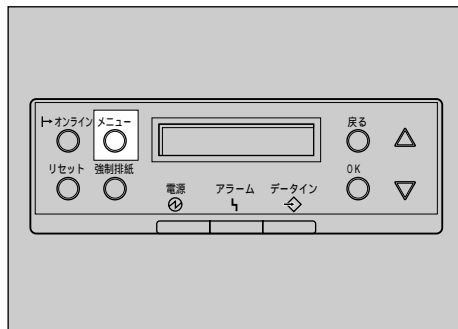
❒ エラー履歴に表示されるのは最新の20件だけです。また、プリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 &lt;メニュー&gt;
  キミツインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 <キミツインサツ ブンショ>
  エラー ブンショ
```

4 【▲】または【▼】キーを押して履歴を確認します。

```
 <エラー ブンショ>
  08:56 HGFE7654
```

履歴を確認し終わったら、**【戻る】**キーを押します。

機密印刷文書の選択画面に戻ります。

補足

- ❒ エラー印刷になった文書を印刷するには、拡張HDDに蓄積されている文書を印刷するか文書を削除してから、パソコンからあらためて印刷の指示を出してください。

5 履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

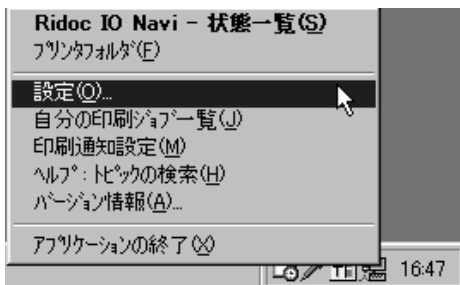
通常の画面に戻ります。

```
 インサツデキマス
 RPCS
```

プリンターの状態を確認するとき

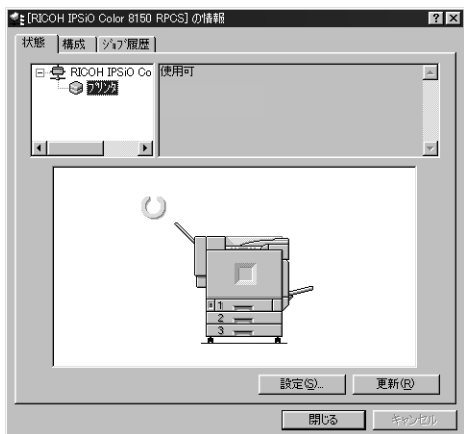
Ridoc IO Navi の場合

1 Ridoc IO Navi**を起動します。**

2 **タスクバーの**Ridoc IO Navi**アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］をポイントしてクリックします。**

［Ridoc IO Navi**設定］ウインドウが表示されます。**

3 **使用するプリンターを選択して反転表示させて［監視対象にする］をチェックし、［OK］をクリックします。**

4 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックし、表示されたメニューから監視対象にしたプリンターをポイントしてクリックします。

監視対象にしたプリンターの［情報］ウインドウが開きます。

5 ［構成］タブをクリックすると、給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。

補足

❒ それぞれの項目の詳細については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

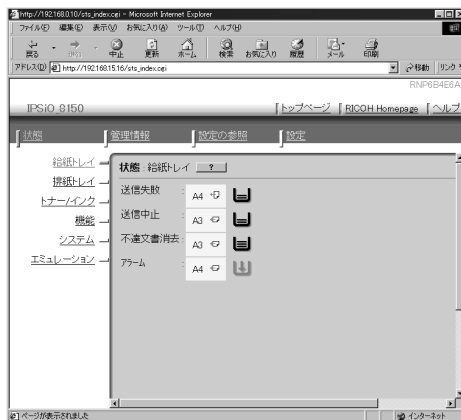
Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

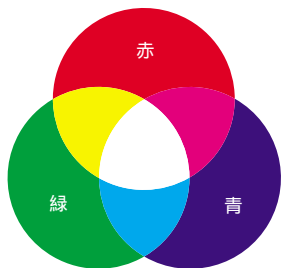
3 ［状態］をクリックすると、給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。

 補足

❒ それぞれの項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

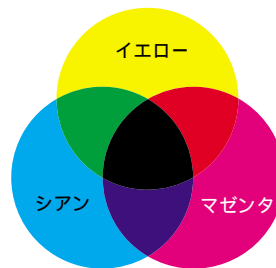
カラーガイド

カラー印刷のしくみ

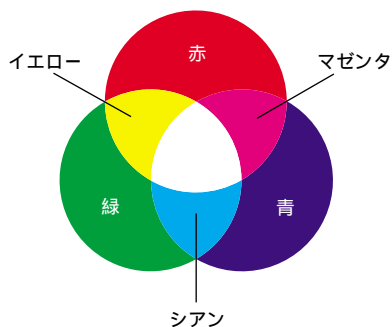
光の 3 原色と色材の 3 原色

すべての光はRGBと呼ばれる3つの色を混合して表現されます。R(Red)は赤、G(Green)は緑、B(Blue)は青です。RGBを同じ割合で混合すると、白になります。

補足

❒ RGBの3つの色を光の3原色と呼びます。パソコンのディスプレイ、もRGBの色の組み合わせで色を表現しています。

印刷の色はCMYの3つの色を混合して表現されます。C(Cyan)はシアン、M(Magenta)はマゼンタ、Y(Yellow)はイエローです。CMYを同じ割合で混合すると、黒になります。

補足

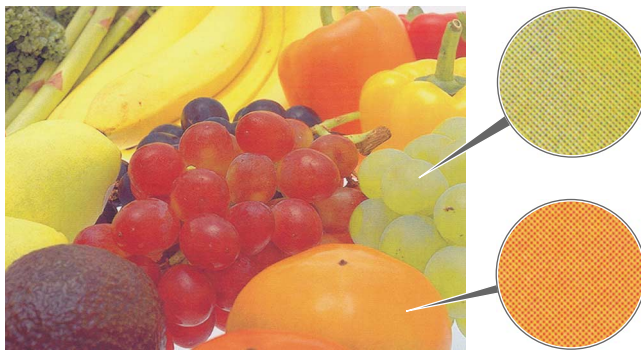
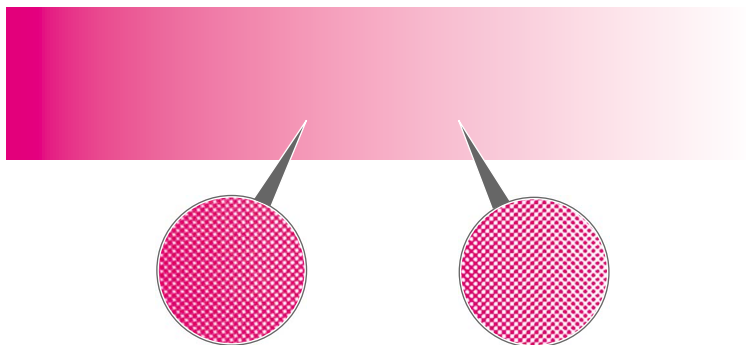
❒ CMYの3つの色を色材の3原色と呼びます。IPSiO Color 8150は、CMYにK（黒）のトナーを加えた4色のトナーを使って、フルカラーの印刷を行います。

光の3原色の各色が混合すると、第2色としてシアン、マゼンタ、イエローが作られます。また逆に、色材の3原色の各色が混合すると、赤、緑、青が作られます。1つの原色に対し、ほかの2つの原色を混ぜた色のことを「補色」と呼びます。赤とシアン、緑とマゼンタ、青とイエローは補色の関係にあります。

プリンターにおける色の表現方法

IPSiO Color 8150は、色材の3原色であるC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（黒）を加えた、4色のトナーを使って、フルカラーの印刷を行います。

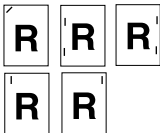
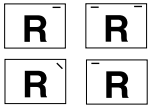
補足

- CMYの3色のトナーを同じ割合で混ぜると理論上は純粋な黒になります。ただし、こうして印刷された黒は印刷の特性上どうしても純粋な黒にはならず、質感が劣ります。よりくっきりとした黒を再現するために、通常の印刷ではブラックのトナーも使用してカラー画像を印刷します。

たとえば、画像がシアンだけで作られているときは、全体をシアンのトナーだけで印刷すれば問題ありません。しかし、フルカラーの画像の場合、実際には何万色という微妙な色の集まりでできています。このような微妙な色は、単位面積当たりに印刷するCMYKのトナー粒子の割合を変えることで表現します。

また、画像には同じ色でも濃い部分と薄い部分があります。このような色の濃淡は、単位面積当たりに印刷するトナー粒子の量を変えることで表現します。

ステープル、パンチについて

ステープル

本機には、オプションの2000枚フィニッシャーを取り付ければ、複数部数の印刷をする場合、印刷物を１部ずつステープルすることができます。印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

- 手差しトレイから給紙する場合は、ステープルはできません。
- 用紙種類が「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」に設定された給紙トレイは、ソートに使用することはできません。

補足

- 2000枚フィニッシャーを接続しているのにステープルの設定ができない場合は、オプションが正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、オプションを正しく設定してください。設定方法については、使用説明書＜プリンタークライアント編1＞「オプションを設定する」を参照してください。
- 印刷方向、用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は、次のとおりです。

❖ ステープル位置

本機の用紙方向	印刷データの方向	ステープル位置
（タテ置き）	タテ	
	ヨコ	
（ヨコ置き）	タテ	
	ヨコ	

場合によっては、指定したステープル位置と異なることがあります。

- ❒ 両面の設定をしているときは、ステープル位置と綴じ方向を合わせてください。
- ❒ パンチと同時に指定する場合は、同じ側に指定してください。
- ❒ ステープルができる用紙サイズと枚数は、次のとおりです。

用紙サイズ	ステープル可能枚数
A3、11×17、B4、Legal	30枚
A4、B5、Letter	50枚

パンチ

印刷物にパンチ穴をあけることができます。

制限

- 手差しトレイから給紙する場合は、パンチはできません。
- オプションの2000枚フィニッシャーが必要です。
- 用紙種類が「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」に設定された給紙トレイは、ソートに使用することはできません。

補足

- 印刷方向、用紙のセット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は、次のとおりです。

❖ パンチ位置

本機の用紙方向	印刷データの方向	パンチ位置
	タテ	R R
	ヨコ	R
	タテ	R
	ヨコ	R R

- ❒ 2000枚フィニッシャーを接続しているのにパンチの設定ができない場合は、オプションが正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、オプションを正しく設定してください。設定方法については、使用説明書<プリンタークライアント編1>「オプションを設定する」を参照してください。
- ❒ 両面の設定をしているときは、パンチ位置と綴じ方向を合わせてください。
- ❒ ステープルと同時に指定する場合は、同じ側に指定してください。
- ❒ パンチができる用紙サイズは、A3、B4、11×17、Legalです。

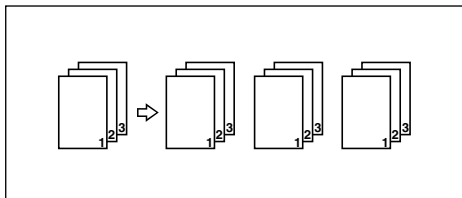
ソートについて

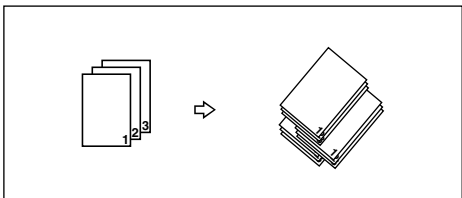
会議資料など複数部数の印刷をする場合など、ページ順に仕分けして印刷する機能を「ソート」といいます。ソートには、次の2種類があります。

参照

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ ソート

1部ずつ揃えて印刷します。

❖ シフトソート

1部排紙するたびに2000枚フィニッシャーのトレイが前後に動き、次の印刷をずらして排紙するため、1部ずつ区別できます。

制限

- ❒ 手差しトレイにセットされている用紙を使用してソートすることはできません。
- ❒ 用紙種類が「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」に設定された給紙トレイは、ソートに使用することはできません。
- ❒ ソート印刷を行うには、128MバイトU以上のSDRAMまたは拡張HDDを取り付ける必要があります。
- ❒ シフトソートを行うには、オプションの2000枚フィニッシャーが必要です。

補足

- ❒ 2000枚フィニッシャーを接続しているのにシフトソートの設定ができない場合は、オプションが正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、オプションを正しく設定してください。設定方法については、使用説明書<プリンタークライアント編1>「オプションを設定する」を参照してください。
- ❒ 排紙先がフィニッシャーのトレイの場合は、「ソート」の指定がされていてもシフトソートされます。
- ❒ プリンタードライバーで「シフトソート」を設定した場合、排紙先は自動的に2000枚フィニッシャーのトレイに設定されます。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社**リコー**
東京都港区南青山1-15-5 **リコービル** 〒107-8544
(03**)** 3479-3111**(代表)**

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご相談ください。修理については、修理期間(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO(イプシオ)ダイヤル」にご連絡ください。

 0120-56-1240 (コールはイプシオ)

- **受付時間:**9〜12**時、**13〜17**時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)**

TrueTypeWorld **の仕様およびインストール等に関するお問い合わせは、**「TTW**インフォメーションセンター」にご連絡ください。**

045-477-1639

- **受付時間:**9〜12**時、**13〜17**時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)**

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページ、または@niftyのリコーファンフォーラムから入手することができます。

- **インターネット/リコーホームページ:**http://www.ricoh.co.jp/
- **@nifty/リコーファンフォーラム:**>GO FRICOH ↵

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

2002**年**1**月** G077-8572